

豊中市
toyonaka

人とつながり、未来を拓く
「学びの循環都市」をめざして



■大学との連携～サウンドスクール事業～

大阪音楽大学・大阪大学との連携により「本物」に触れる教育を推進しています。



■小中学生理科・サイエンスフェスティバル

児童・生徒の自由研究を展示し、優秀な作品には、名誉市民である故・南部陽一郎先生の名を冠した賞、阪大総合学術博物館長賞等を授与しています。また、市内の小・中学校や近隣の高校、大学等のサイエンス系クラブが活動の成果を紹介し体験型ブースを開く、サイエンスフェスティバルを実施しています。



■「マチカネ先生塾」及び教員サポートシステム

教員をめざす学生には「マチカネ先生塾」で、経験の浅い教員には、経験豊富な育成支援教員が授業力のサポートを行っています。

■多文化共生

帰国・渡日や外国にルーツを持つ児童・生徒に対する様々な学習支援や居場所づくり等支援施策に取り組むとともに、互いに認め合い、尊重し合い、共に生きる多文化共生の視点での学びを進めています。また、ユネスコ・スクール参加校等は国内外の学校との協働授業に取り組んでいます。

★フレンドシップスクール・国内外学校間協働学習

「空港のある中核市 豊中！」世代と空間を超えた人とのつながり

池田市
ikedada

教育日本一のまち池田を
めざして!!



多様に「つながる」いけだっ子を育てています!

■保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・義務教育学校
がつながる

- ・全学園(中学校区)で保育所・幼稚園・こども園・小学校連携、小中一貫教育を推進しています。
- ・小学校・中学校・義務教育学校で連続した「英語教育」を実施しています。
- ・市内全小学校・中学校・義務教育学校に電子黒板を整備するとともに、Pepperを活用した「プログラミング教育」に取り組んでいます。
- ・地域学習「いけだ学」を推進するために、『ふくまるかるた』、『ふくまるかるたハンドブック』、『いけだ学』ハンドブックを配付しています。
- ・支援教育体制の充実に向けて、幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校に通級指導教室を開設しています。

■地域社会とつながる

・学校・家庭・地域が協働し、子どもたちがいきいきと活動できる教育コミュニティづくりを推進しています。



・公設民営の塾「池田ふくまるはばたき塾」では、家庭学習や自習のサポートを行っています。

■世界とつながる

・毎年、オーストラリア・姉妹都市ローンセストン市への教員の語学研修を実施しています。

箕面市
minoh

豊かな「育ち」と確かな
「学び」を育む学校づくり



自分に自信と誇りを持ち、箕面を愛し、夢や希望を持って
ともに社会を生きる「みのおっ子」を育みます。

■箕面子どもステップアップ調査(箕面学力・体力・生活状況総合調査)

毎年、子どもたち一人ひとりの学力・体力・生活の状況を把握し、9年間を通して継続的に子どもの育成を進めています。

■英語教育の推進

小・中学校全校に外国人英語指導助手を配置し、小学1年生から中学3年生までの全学年で毎日英語の授業を実施しています。



■「箕面の授業の基本」で指導のスタイルを確立

箕面版・授業の手引きを活用することで、すべての先生が子ども主体の課題解決型授業を展開しています。

■ICTを活用した授業づくり

全小学校の4年生以上、及び一部の中学校と小学校1年生～3年生にタブレット端末を導入するなど、ICTを活用した分かりやすい授業づくりを進めています。



■小中一貫教育の推進

施設一体型小中一貫校や全中学校区で、小中学校9年間を見通した教育を推進しています。

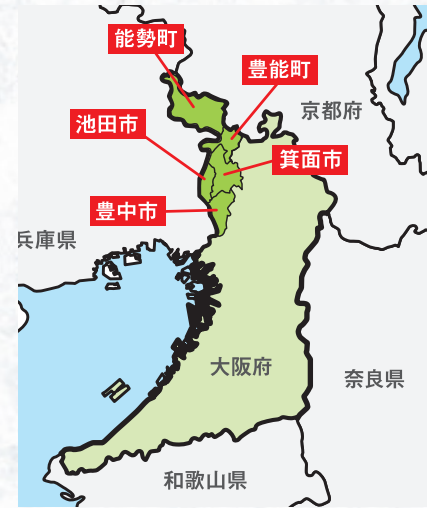
■充実した初任者サポート体制

教育のエキスパート「教育専門員」を配置し、初任者サポートを充実させています。

とよの
大阪府豊能地区とは

大阪府豊能地区は、大阪府の北西に位置し、大阪国際空港があり、JR新大阪駅に近接する成熟した都市部や、季節ごとにさまざまな表情を見せる魅力的な自然を持った豊かな教育環境を誇る地域です。

豊能地区3市2町(豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町)は、政令指定都市以外では全国で初めてとなる、市・町による教員採用選考を実施しています。この地域における教員を志す方の応募をお待ちしています。



選考職種 小学校教諭・中学校教諭・養護教諭・栄養教諭

※小学校と中学校を併願することができます。

出願期間 平成31年(2019年)4月1日(月)～5月24日(金)

出願先 インターネットによる出願: <https://toyono-jinjikyoo.com/>

郵送による出願: 大阪府豊能地区教職員人事協議会
〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1(豊中市役所内)

※詳しくは「2020年度 大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト受験案内」をご覧ください。

能勢町
nose

自分が好き! 能勢が好き!
仲間とともに! 夢いっぱい!



■小中高12年間を効果的につないでいく小中高一貫教育の推進

・施設一体型小中学校の強みを生かし、9年間の学びを効果的につなぎ、連携、充実させる教育を推進しています。また、高校との接続を視野に入れた授業・体験活動等を行っています。



■能勢町独自の特色ある教育活動(英語学習、ふるさと学習、コミュニティ・スクール)の展開

- ・小学1年生から6年生までの週3回短時間学習、小学校4年生から中学校3年生まで系統的な異文化体験ができる留学生交流、英語力向上を目的とした洋書の多読多聴等の特色ある英語教育を展開しています。
- ・「わが町能勢」の自然・歴史・文化・産業などを地元の方々や専門家等から直接学び、地域からの視点と国際的な視野で考える体験的な学習を実施しています。
- ・学校・家庭・地域が力を合わせ一体となり、それぞれの立場で「能勢っ子」の成長を応援していく「コミュニティ・スクール」の取組を広げています。



■小さな町の強みを生かした教育・福祉の連携システム

- ・子育て・教育ニーズに対応した教育環境を整え、子どもの居場所を保障し、一人ひとりの児童・生徒を大切に教育活動を行います。

豊能町
toyono

子どもがキラリ輝く
「豊能」の教育



めざす子ども像「豊能町に誇りを持ち、
自信をもって生き抜く子ども」を育てます。

■保幼小中で連携し、15年間の保育・教育の
系統的・計画的な推進

0歳から15歳までの学びを「めざす子ども像」を目標に取り組んでいます。



■質の高い学力をつけるための学力向上策の推進

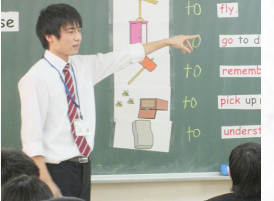
「とよの授業スタンダード」を作成し、子どもたちが関心・意欲を高められるような授業づくりを進めています。

■クラブ活動を含む体力・気力の充実を図る体力向上策の推進

各校で体力向上プランを作成し、小学校での児童会中心の活動や中学校でのクラブ活動交流を進めています。

■「とよの学」を創設し、豊能のよさを育む地域学習・自然体験
学習等の実施

豊能町の自然、文化、歴史、産業等を活かした地域体験学習を推進していきます。



■ことばの教育の充実(国語教育・外国語教育)

各教科ごとで言語活動の充実を図りつつ、ALTを4名配置して外国語教育を充実させています。

■ICT教育の充実

ICT機器、プログラミング教材を各学校へ配置し、わかる授業づくり推進に取り組んでいます。